

ふるさとを愛する人
～ふるさと形原を愛する形中生～



3年生のために卒業式を満開の桜で飾ろう 早咲き桜育成プロジェクト始動

本校の卒業式は、春日桜会さんからいただいた満開の早咲き桜を体育館に飾り、卒業生を送るのが伝統になっています。その早咲き桜を「生徒(後輩)の手で育てたい」という思いで、昨年度より始動したのが「早咲き桜育成プロジェクト」です。

2月より来賓玄関前で、環境緑化委員会の1、2年生が、春日桜会さんの指導のもと育成をはじめます。ビニールハウス内の室温を20℃～25℃に保つこと、乾燥しないように桜の枝に水を吹きかけて、湿度を30%以上に保つことが仕事です。ちょうど卒業式に満開になるように、開花が早すぎるようならビニールハウスから出して調節しなければなりません。管理が大変ですが、3年生のために育成をがんばりましょう。

ビニールハウスで育てた早咲き桜を卒業式に飾ります。



ラリーカーが形原中にやってくる



- 【2/16(金)の日程】 ※雨天決行
- 9:50～ ○講演「ラリーについて」
※全校生徒対象(体育館)
 - 10:50～ ○プロドライバーによるデモ走行見学
○生徒代表ラリーカー乗車体験
※全校生徒、保護者対象(運動場)

3/1(金)～3(日)に、全日本ラリー選手権第1戦「RALLY 三河湾2024」が蒲郡で開催されます。昨年までは新城で開催されていました。大会を盛り上げるために、出場するドライバーが本校に来て、「ラリーについて」のお話をしていただけることになりました。また、出場するラリーカーのデモ走行もしていただけます。大変貴重な機会です。みなさん、楽しみにしてください。日程は上記の通りです。10時50分から運動場でおこなわれる「デモ走行」は保護者の方にも開放しますので、是非見学しに来てください。



中1：形原伝統の味 油菓子をつくらう



2/1(木)、1年1組と2組が「形原伝統の味～油菓子をつくらう」(総合学習)を行いました。今年、形原1区まめだ会の松下さん、古川さん、近藤さんを講師にお招きしました。

最初に油菓子の由来を聞きました。**漁師のおやつ(保存食)**として考案され、一斗缶に油菓子を入れて漁に出たのが始まりとされているそうです。また、**形原松平の殿様の好物**だったという説もあるそうです。江戸時代は三河湾でも船が沈むほど、沢山のニシンが獲れたそうで、その油を使ったのかもしれないこと、その頃の砂糖は貴重だったので、砂糖を入れない甘くない油菓子だったのかもしれないことなど、おもしろい逸話を聞かせていただきました。

次に生地作り方の説明を聞きました。その後、グループで「**のばす→切る→ひねる**」の順に、生地から形をつくりました。生徒たちは「ひねる」のが難しかったようで、大きささま、個性的な形の生地ができあがりました。その後、フライパンに油を注ぎ、生地の両面を揚げ完成させました。**出来立てほやほやの油菓子**を生徒たちはとても美味しそうに食べていました。**形原の魅力**を十分に味わってくれたと思います。

今年から油菓子づくりを**参観授業**としました。お忙しい中、2クラスあわせて約20名の保護者の方が学校へ足を運んでくださいました。自分のお子様の班で、生地作り方や揚げ方をアドバイスされている方もみえました。**親子和気あいあいと油菓子を作る姿**が微笑ましかったです。

今回参観して下さった保護者のみなさま、ありがとうございました。8(木)には1年3組と4組がおこないます。多くの保護者のご参加をお待ちしています。



まめだ会さんから作り方の説明



のばす

切る



揚げる

ひねる



完成

試食